

「ひょうたん島問題」で多文化共生について考えました

3月2日（土）、同志社女子大学の藤原特任教授を講師として、「ひょうたん島問題から学ぶ多文化共生講座」をしました。

ひょうたん島問題とは、ひょうたん島という想像の島に、別の島から文化が違う人が引っ越してきたときに、どんなことが起きるかを考えるものです。

参加者はそれぞれの島の人になって、お互いにあいさつが伝わらないとどんな気持ちになるかを考えました。また、言葉や文化が違う子どもたちの教育についても、それぞれの島の人の立場から意見を出し合いました。

参加した人は、「ロールプレイをとおしてそれぞれの立場を体感できた」、「それぞれが共存する社会をつくるためには、話し合い、文化の違いを理解することがとても重要だとわかった」と話していました。

今日の講座をとおして、文化が違う人たちが一緒に生活するときの課題と、お互いの文化を認め合うことの大切さを学ぶことができました。

